

## 2. 修業年限および在学年限

修業年限は4年とし、8年を超えて在籍することはできないものとする。

## 3. 卒業の要件

### (1) 卒業所要単位

所定の授業科目について、最低124単位以上の単位を修得しなければならない。

卒業所要単位の内訳は、下表のとおり。

科 目	区 分	単 位 数
共通教育科目	初期導入・リテラシー教育科目	必修を含め40単位以上 (必修22単位)
	教養教育科目	
専門教育科目	言語文化系科目群	必修を含め84単位以上 (必修28単位) なお、発達教育系科目群から40単位以上を、それ以外に言語文化系・社会学系・心理学系科目群から合わせて16単位以上を修得すること。
	社会学系科目群	
	心理学系科目群	
	発達教育系科目群	
	専門演習 キャップストーン・コース 卒論指導演習 卒業論文	
合 計		124単位 (必修50単位)

### ・専門教育科目の表を見る場合の留意点

1. 標準履修年次とは、4年間の学修の中で、通常はそこで示された年次に履修することが学修効果として望ましいという指標を示したものであるから、各年次で履修計画を立てる場合に参考にすること。
2. ただし、上位学年は下位学年の科目を全て履修可能なので、時間割の関係などで標準履修年次に履修できなかった科目を上位学年で履修する（つまり、標準履修年次1・2年の科目を3年次や4年次で履修する）ことは全く問題ない。
3. なお、標準履修年次2・3年という表示がある場合は、2年次からの履修しか認めないという意味でもあるので、下位学年、つまり1年次には履修できないことに注意。

### (2) 卒業見込証明書の発行基準について

3年以上（休学期間は除く）在籍し、卒業所要単位124単位のうち、3年次後期終了時点で93単位以上を修得している者、または、4年次前期終了時点で109単位以上を修得している者について発行する。

#### 4. 履修基準（履修にあたっての留意事項）

- (1) 前期、後期それぞれで履修できる履修単位数の上限は22単位である。ただし、資格等取得に関する科目で卒業要件とならない科目、および他大学等との単位互換制度に基づいて履修する科目の単位はこれに含めない。
- (2) 成績優秀者（直前の学期において20単位以上修得し、それらの科目のGPA値が3.0以上の者）に対しては、上限を半期28単位まで緩和する。
- (3) 4年次においては、例外として22単位を超えて履修できる場合がある。ただし、教務課に自ら申し出て指示を受けた場合に限る。

## 5. 履修方法

### (1) 共通教育科目

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考			
		必修	選択必修	選択					
共通教育科目	初期導入・リテラシー教育科目	基礎ゼミナール1	2			1前	留学生（交換留学生を除く）はA1、A2、B1、B2のみ必修。		
		基礎ゼミナール2	2					1後	
		英語A1（文法・語彙）	1					1前	
		英語A2（文法・語彙）	1					1後	
		英語A3（英文講読）	1					2前	
		英語A4（英文講読）	1					2後	
		英語B1（コミュニケーション）	1					1前	
		英語B2（コミュニケーション）	1					1後	
		英語B3（コミュニケーション）			1			2前	
		英語B4（コミュニケーション）			1			2後	
		日本語A1	1					1前	日本語A1～B4全科目は、留学生（交換留学生を除く）のみが対象。留学生以外は履修不可。
		日本語A2	1					1後	
		日本語A3	1					2前	
		日本語A4	1					2後	
	日本語B1	1				1前			
	日本語B2	1				1後			
	日本語B3	1				2前			
	日本語B4	1				2後			
	日本語表現法1	2				1前			
	日本語表現法2			2		1後			
	コンピュータリテラシー1	2				1前			
	コンピュータリテラシー2			2		1後			
	スポーツ科学実技A1	1				1前			
	スポーツ科学実技A2	1				1後			
	スポーツ科学実技B			1		1・2前			
	スポーツ科学実技C			1		1・2後			
	キャリアデザイン1	2				1後			
	キャリアデザイン2	2				2前			
	インターンシップA	2				2前・後			
	インターンシップB			2		3前・後			
	教養教育科目	哲学			2		1・2前		
		心理学			2		1・2前		
		歴史学			2		1・2前		
文学				2		1・2後			
デザイン論				2		1・2後			
憲法入門				2		1・2後			
マスコミ論				2		1・2後			
数学				2		1・2前			
統計学1				2		1・2前			
統計学2				2		1・2後			
環境論				2		1・2後			
情報と社会				2		1・2前			
科学・技術論				2		1・2前			
ジェンダー論				2		1・2後			
健康・スポーツ概論1				2		1・2前			
現代社会の諸問題A				2		1・2前			
現代社会の諸問題B				2		1・2前			
現代社会の諸問題C				2		1・2前			
とちぎ学				2		1・2後			
日本事情A				2		1・2前	留学生（交換留学生を除く）は必修。		
日本事情B			2		1・2後				

授業科目の名称		単位数			標準 履修 年次	備考	
		必修	選択 必修	選択			
共通 教育 科目	教養 教育 科目	初級ドイツ語 1-1			1	1 前	学部が許可した場合以外は、初級1-1から履修をはじめること。留学生は母語以外について履修可とする。
		初級ドイツ語 1-2			1	1 後	
		初級ドイツ語 2-1			1	2 前	
		初級ドイツ語 2-2			1	2 後	
		中級ドイツ語 1			1	3・4 前	
		中級ドイツ語 2			1	3・4 後	
		初級フランス語 1-1			1	1 前	
		初級フランス語 1-2			1	1 後	
		初級フランス語 2-1			1	2 前	
		初級フランス語 2-2			1	2 後	
		中級フランス語 1			1	3・4 前	
		中級フランス語 2			1	3・4 後	
		初級中国語 1-1			1	1 前	
		初級中国語 1-2			1	1 後	
		初級中国語 2-1			1	2 前	
		初級中国語 2-2			1	2 後	
		中級中国語 1			1	3・4 前	
		中級中国語 2			1	3・4 後	
		初級韓国語 1-1			1	1 前	
		初級韓国語 1-2			1	1 後	
	初級韓国語 2-1			1	2 前		
	初級韓国語 2-2			1	2 後		
	中級韓国語 1			1	3・4 前		
	中級韓国語 2			1	3・4 後		
	英語C 1			1	2・3・4 前		
	英語C 2			1	2・3・4 後		
	英語D 1			1	2・3・4 前		
	英語D 2			1	2・3・4 後		
英語E 1			1	2・3・4 前			
英語E 2			1	2・3・4 後			
自主科目A			2	1・2・3・4			
自主科目B			2	1・2・3・4			
自主科目C			2	1・2・3・4			
海外研修A			2	1・2・3・4 後			
海外研修B			2	1・2・3・4 後			
海外研修C			2	1・2・3・4 後			
海外研修D			2	1・2・3・4 後			

## (2) 専門教育科目

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考
		必修	選択必修	選択		
専 門 教 育  科 目	言 語 文 化 系 科 目 群	日本文学史A		2	1・2 前	
		日本文学史B		2	1・2 後	
		書道A		1	1・2・3 前	
		書道B		1	1・2・3 後	
		英文学史A		2	1・2 前	
		英文学史B		2	1・2 後	
		言語と認識A		2	1・2 前	
		言語と認識B		2	1・2 後	
		日本の伝統文化		2	1・2 前	
		英語圏の文化		2	1・2 後	
		日本人の精神史A		2	2・3 前	
		日本人の精神史B		2	2・3 後	
		日本古典文学研究A		2	2・3 前	
		日本古典文学研究B		2	2・3 後	
		日本古典文学研究C		2	2・3 前	
		日本古典文学研究D		2	2・3 後	
		日本近代文学研究A		2	2・3 前	
		日本近代文学研究B		2	2・3 後	
		日本近代文学研究C		2	2・3 前	
		日本近代文学研究D		2	2・3 後	
		日本文学史C		2	2・3 前	
		日本文学史D		2	2・3 後	
		英語表現法A		2	2・3 前	
		英語表現法B		2	2・3 後	
		異文化関係論		2	2・3 後	
		文章表現法		2	2・3 後	
		現代文化論		2	2・3 後	
対照言語学		2	2・3 前			
社 会 学 系 科 目 群	社 会 学 系 科 目 群	社会学概論A		2	1・2 前	
		社会学概論B		2	1・2 後	
		社会調査法A		2	1・2 前	
		社会調査法B		2	1・2 後	
		社会の認識A		2	1・2 前	
		社会の認識B		2	1・2 後	
		現代社会論A		2	2・3 前	
		現代社会論B		2	2・3 後	
		地域情報論A		2	2・3 前	
		地域情報論B		2	2・3 後	
		社会的自我論		2	2・3 前	
		情報基礎論		2	2・3 前	
		情報システム論		2	2・3 後	
		社会教育論		2	2・3 後	
		産業社会学		2	2・3 前	
		環境社会学		2	2・3 前	
		家族社会学		2	2・3 前	
		スポーツ社会学		2	2・3 前	
		調査データ論		2	2・3 後	
		質的調査解析論		2	2・3 前	
社会調査及び実習 1		2	3・4 前			
社会調査及び実習 2		2	3・4 後			

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考	
		必修	選択必修	選択			
専門教育科目	心理学系科目群	脳とところA	2		2	1・2前	
		脳とところB			2	1・2後	
		基礎心理学			2	1・2前	
		心理学研究法			2	1・2前	
		心理統計法			2	1・2後	
		知覚心理学			2	1・2後	
		臨床心理学			2	1・2後	
		教育心理学			2	2・3前	
		認知心理学			2	2・3前	
		学習心理学			2	2・3前	
		言語心理学			2	2・3後	
		発達心理学			2	2・3後	
		知的障害児・者生理心理学			2	2・3後	
		神経心理学			2	2・3後	
		カウンセリング論			2	2・3前	
		知的障害児・者心理学			2	2・3前	
		社会心理学			2	2・3前	
		比較文化心理学			2	2・3後	
		対人関係論			2	2・3前	
		健康心理学			2	2・3後	
心理学実験A		2	2・3前				
心理学実験B		2	2・3後				
カウンセリング実習		2	2・3後				
心理検査実習		2	2・3後				
専門教育科目	発達教育系科目群	教職論（初等）	2			1・2前	小学校国語、算数、理科、社会を優先的に履修するのが望ましい。
		教育原理（初等）	2			1・2後	
		教育社会論（初等）	2			2・3前	
		教職実践演習（小）			2	4前	
		障害者教育総論			2	1後	
		知的障害児教育総論			2	2後	
		知的障害の発達心理学			2	2・3前	
		知的障害の認知心理学			2	2・3前	
		視覚障害教育			2	2・3後	
		聴覚障害者教育総論			1	2・3前	
		肢体不自由者教育総論			2	2・3後	
		病弱教育			2	2・3前	
		重複障害教育			2	2・3前	
		言語障害教育			1	2・3前	
		発達障害児の心理と教育			2	1・2・3後	
		知的障害児教育法1			2	3前	
		知的障害児教育法2			2	3後	
		知的障害児教育課程論			2	2後	
		小学校国語（書写を含む）			2	1・2・3・4後	
		小学校社会			2	1・2・3・4後	
		小学校算数			2	1・2・3・4前	
		小学校理科			2	1・2・3・4前	
		小学校生活			2	1・2・3・4後	
小学校音楽			2	1・2・3・4後			
小学校図画工作			2	1・2・3・4前			
小学校家庭			2	1・2・3・4前			
小学校体育			2	1・2・3・4前			

授業科目の名称		単位数			標準 履修 年次	備考
		必修	選択 必修	選択		
専 門 教 育 科 目 群	教育課程論 (初等)			2	2 後	
	外国語活動に関する指導法 (初等)			2	3・4 前	
	総合的な学習に関する指導法 (初等)			2	2・3・4 後	
	道徳指導法 (初等)			2	3 前	
	特別活動指導法 (初等)			2	2・3 後	
	教育方法論 (初等)			2	2・3 前	
	生徒指導論 (初等)			2	2・3 前	
	教育相談 (初等)			2	2・3 後	
育 科 目	専門演習A	2			2 前	
	専門演習B	2			2 後	
	専門演習C	2			3 前	
	専門演習D	2			3 後	
	キャップストーン・コース1			2	3 前	
	キャップストーン・コース2			2	3 後	
	卒論指導演習1	2			4 前	
	卒論指導演習2	2			4 後	
卒業論文	8			4 後		